

キャリパーブレーキ & DISK

エア&スプリングの力でディスクをはさみ、制動するブレーキです。

BCH



BMK1800



BTC



BCF10



NEW BMK-D-000

※その他にも、大きなサイズもあります。



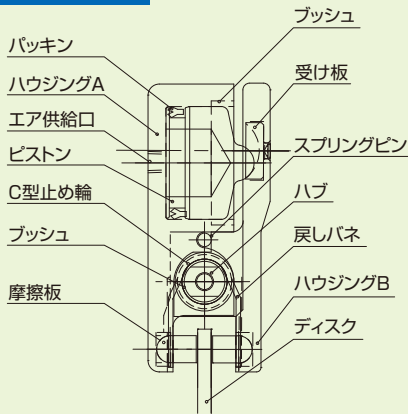
BMK1800 (ミニキャリパー形)



特長

- ①0.6MPa のエア圧で 1500N の制動力が発生します。
- ②熱に強い摩擦板とディスクが外気に接しており熱放散が良く、急制動や高頻度の使用に最適です。
- ③供給エア圧力を変えることにより制動力を広範囲に調整できます。またディスク径、取付け個数を変えることによりトルクが変わります。
- ④ボルトと回り止めピンで固定でき、取付け、取扱いが簡単です。
- ⑤無給油でご使用できます。
- ⑥摩擦板はノンアスベスト品で、交換が簡単です。

BMK 構造図



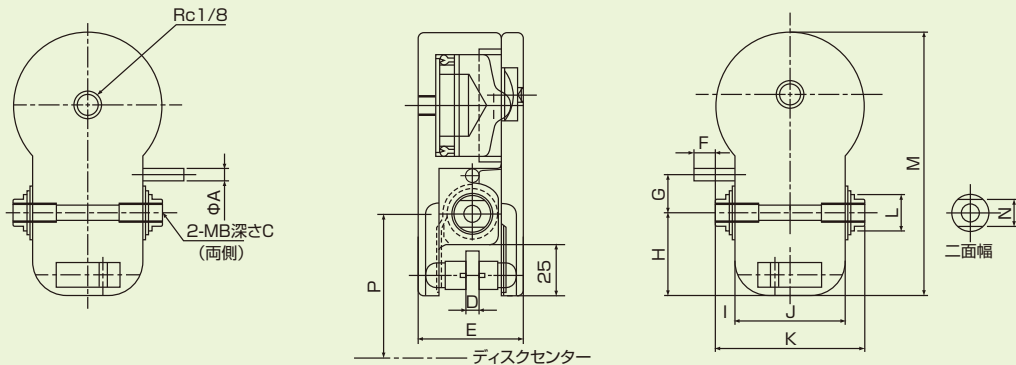
動作

- ・エア供給口にエアを供給するとピストンがハウジングBを押し、摩擦板がディスク(円板)の両側に接触します。
- ・エアを排気すると戻しばねで瞬時に解放します。スプリングピンによりディスクと摩擦板の隙間が均等になります。
- ・ピストンのパッキンは無給油タイプです。

付属品

- スプリングピンφ 6 × 40

主要寸法表



(mm)

呼び番号	A	B	C	D	E	F※	G	H	I	J	K	L	M	N	質量(kg)
BMK1800	6	8	15	7.2	51	10	18.5	40	9	52	70	18	128	13	1.1

※ : スプリングピン用キリ穴深さ

P : ディスク半径 + 21.5mm

技術データ

呼び番号	空気室の容積 (cm ³)		摩擦板		最大使用空気圧 (MPa)
	最小 Vn	最大 Vo	許容摩耗量 Vf(cm ³)	摩耗係数 σ'(cm ³ /J)	
BMK1800	4.56	19.73	1.8	1.86 × 10 ⁻⁸	0.6

[備考] Vn : 新しい摩擦板の場合の空気室容積
Vo : 摩擦板交換直前の場合の空気室容積

摩擦トルクの計算

$$T = K \times (D / 2 - 0.007) \times (P - 0.05)$$

T : 摩擦トルク N・m

K : 係数 静摩擦トルクの場合 → 3416

動摩擦トルクの場合 → 2657

P : エア圧 MPa

D : ディスク直径 m

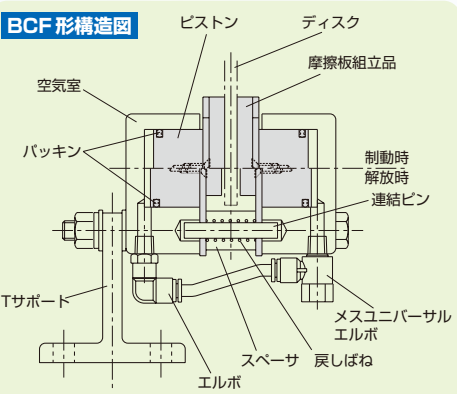
誠に勝手ながら、BMK1800は2022年3月末日をもって生産終了とさせていただきます。何卒ご理解頂き、今後ともASAHI製品をご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

2021.11

BCF形（ディスクキャリパー形）



BCF形構造図



特長

①安定したトルク

急制動や頻繁な使用に最適。ディスク表面が直接大気に接しているため熱放散が良くトルクが安定しています。

②トルクを任意に調整できる

空気圧を変えることにより、トルクを広範囲に調整できます。

ディスク径を変えると半径に比例してトルクが変わります。

1つのディスクに複数個取付けるとトルクは複数倍になります。

③無給油で使用できる

④取付け、取扱いが簡単にできる

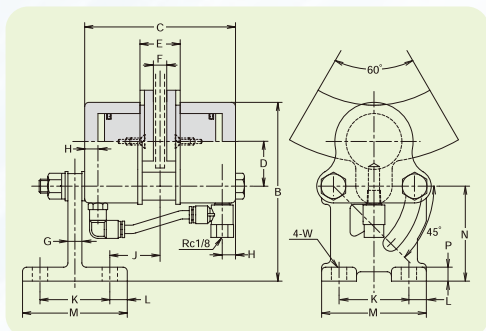
ダクタイル鋳鉄製T形サポートが付いているので自由に角度が変えられ、取付けが簡単にできます。直線運動のブレーキにもご使用できます。

⑤摩擦板はノンアスベストです

構造・動作

空気室にエアを供給すると、ピストンが摩擦板を押し、ディスク（円板）の両側に、摩擦板が接触します。エアを排気すると戻しばねで解放します。ピストンのバックリンは無給油タイプです。

主要寸法表



呼び番号	動摩擦トルク (N·m) 0.6MPa時	主要寸法 (mm)											
		B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N
BCF10	93*	128	108	32	32	9.6	10	9.5	36	50	12.5	75	68

呼び番号	主要寸法 (mm)		質量 (kg)
	P	W	
BCF10	10	11	3.0

摩擦板寸法はR82×R120×60°です。
※ディスク径400mm

技術データ

呼び番号	空気室の容積 (cm ³)		摩擦板の許容容積 Vf (cm ³)	ディスク径 (mm)			
	最小 Vn	最大 Vo		回転速度限界 Nb (r/min)			
BCF10	13.7	23.8	30.35	250	300	350	400
				4500	3600	3000	2600

〔備考〕 Vn：新しい摩擦板の場合の空気室容積 Vo：摩擦板交換直前の場合の空気室容積

応答時間

単位：ms

空気圧 (MPa)	3ポート電磁切換弁						4ポート電磁切換弁					
	t ₁	t ₂ ⁹⁰	t ₂ ¹⁰⁰	t ₃	t ₄ ¹⁰	t ₄ ⁰	t ₁	t ₂ ⁹⁰	t ₂ ¹⁰⁰	t ₃	t ₄ ¹⁰	t ₄ ⁰
0.3	17	44	71	20	46	64	15	10	15	14	4	7
0.4	15	47	74	23	56	77	13	9	13	14	5	8
0.5	13	51	77	26	68	89	12	9	12	15	6	8

〔備考〕 このデータは、すべてNEXEN社製電磁切換弁を使用し、エアホース（200mm長さ×1/4径）、1/8NPT取付金具、および急速排気弁を使用した場合です。

エア配管

メスユニバーサルエルボのRc1/8の穴に配管します。シールは無給油タイプのバックリンを使用しているため、給油する必要はありません。

⚠ 取扱上の注意

- ①ディスクと軸との直角度は0.05mm以内にしてください。
- ②ディスクと摩擦板のすきまは両側で均等になるようにしてください。
- ③直線運動の制動にもご使用できます。
その場合、制動する相手材は幅50mm、厚さ4.8-8mm、長さ120mm、以上ストロークに合わせて設定してください。

BMK-D-●●● (ミニキャリパー専用ディスク)

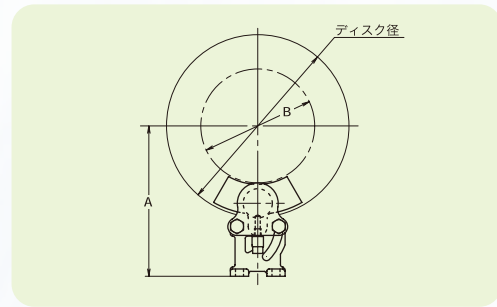


BMK1800に取付



BCF形に取付

ディスク (参考)



ディスクの厚さ：4.8 ~ 8mm

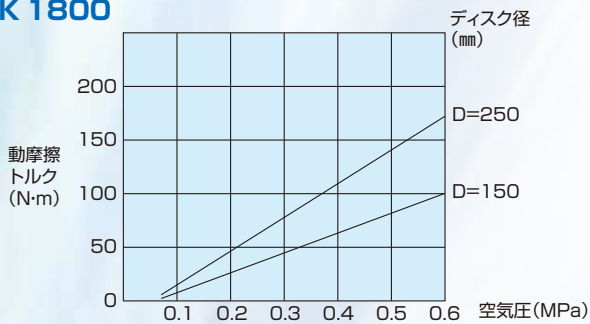
材質：鋼
例：S45C 等

単位：mm

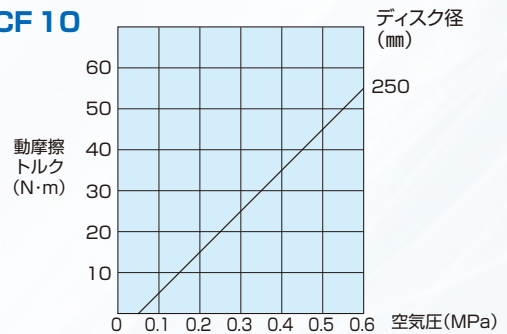
ディスク径	A(取付高さ)	B(最大径)
250	206	160
300	232	210
350	256	260
400	282	310

空気圧とトルクの関係

BMK 1800



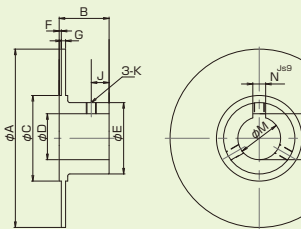
BCF 10



ディスク

専用ディスクは外径により2種類あります。
内径、キー加工が出来ます。下穴又は下表により指定してください。

主要寸法表



材質：FC250
キー溝：JIS B1301 による

(mm)

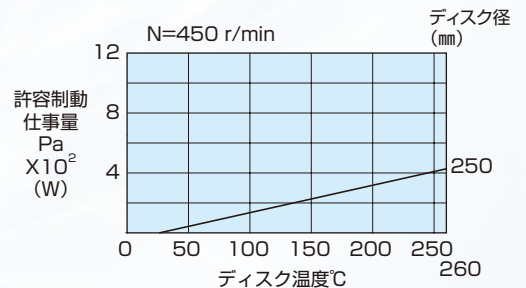
呼び番号	A	B	C	D (下穴)	E	F	G	概算質量 kg
BMK-D-150	150	50	90	20	65	3	6	1.8
BMK-D-250	250	70	160	38	100	3	6	4.8

内径、キー加工

BMK-D-150 の場合 (mm)				BMK-D-250 の場合 (mm)					
M(H7)	25	30	35	M	40	45	50	55	60
N	8	10	10	N	12	14	14	16	18
L	28.3	33.3	38.3	L	43.3	48.8	53.8	59.3	64.4
K	M6	M8	M8	K	M10	M12	M12	M14	M14
J	15	15	15	J	20	20	20	25	25

許容制動仕事量 Pa とディスク温度

大きなエネルギーを頻繁に制動したり、
常時すべりで使用する場合、ディスク温度を
150℃以下で使用してください。



特長



① 水冷不要・大きな熱容量

空冷で十分放熱するキャリパー形ディスクタイプです。
ロータはインペラー構造で内周側から冷たい空気をブレーキに引込むので効率よく発生熱を外へ逃がします。
水冷に要するイニシアルコストやランニングコストが不要になりコストダウンにつながります。また水漏れ、水アカなどに対する保守が不要になりメンテナンスコストもいりません。

② 広いトルク制御範囲 (最大 1 : 880)

キャリパーはダイヤフラムを用いているので最低作動圧が極めて低くまた、キャリパー作動数と組み合わせるとトルクの制御範囲は大幅に広くなり、最大 1 : 880 まで制御できます。

③ 低慣性化・軽量化

ロータは軽量で低慣性です。

④ 摩擦板の交換、秒単位

摩擦板は保持ピンを引張ると工具なしで、交換できます。
交換はワンタッチでできます。

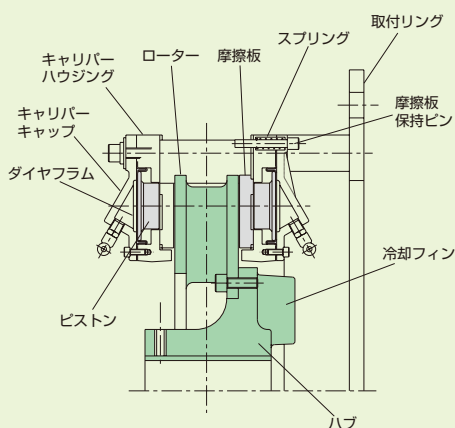
⑤ ノンアスベスト摩擦板使用

ダイヤフラム内蔵のキャリパーは制御空気圧の変化に敏感に応答し、トルク変化をもたらします。

ロータ、キャリパー外周のフィン及びハブの冷却フィンが効率よく外部へ放熱し軸や軸受そしてブレーキ内部に熱が向かわぬよう効率の良い合理的な設計です。

ロータは冷たい空気をブレーキに引込むのでキャリパー内周に配管されたエアチューブが冷却され過熱損傷することはありません。
摩擦板は摩擦板保持ピンによりワンタッチで交換できます。

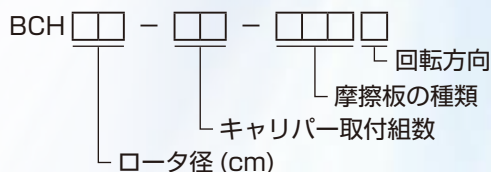
BCH 形構造図



付属品

- タッチジョイント (ディー 2 個 / 1 組)
- プラグ (1 個 / 1 組)
- ナイロンチューブ (φ4)

キャリパー形ディスクブレーキの呼び番号



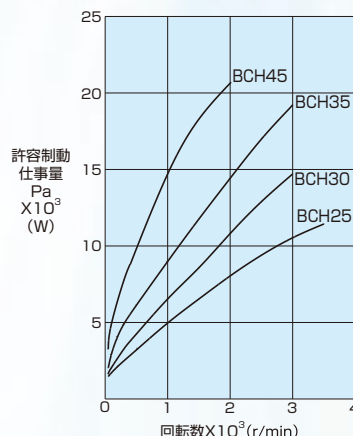
例) ロータ径 35cm, キャリパー取付組数 7 組
標準摩擦板、左回転用のもの、BCH35 - 07 - 062L

キャリパー取付組数と動摩擦トルクの関係

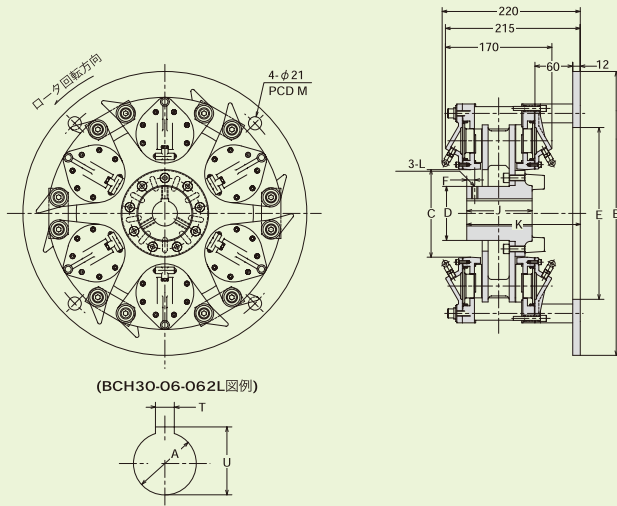
単位: N・m

形式	BCH								
	25		30		35		45		
サイズ									
空気圧 (MPa)	0.007	0.6	0.007	0.6	0.007	0.6	0.007	0.6	
キャリパー取付組数	1	1.0	98	1.8	118	1.8	157	2.0	196
	2	2.0	196	3.0	236	3.6	314	5.0	392
	3	3.0	294	4.2	354	5.4	471	7.0	588
	4	4.0	392	5.4	472	7.2	628	9.0	784
	5	5.0	490	6.6	590	9.0	785	11.0	980
	6	-	-	7.8	708	10.5	942	13.5	1176
	7	-	-	-	-	12.0	1099	16.0	1372
	8	-	-	-	-	-	-	18.5	1568
	9	-	-	-	-	-	-	21.0	1764

許容制動仕事量



主要寸法表



BCH 形寸法表

本体呼び番号	動摩擦トルク (N·m) 0.6MPa時	主要寸法 (mm)											
		A(H7)	B	C	D	E	F	J	K	L	M	T	U
BCH25	490	35	406	113	64	256	8	84	174	M8	356	10	38.3
BCH30	708	40	452	163	92	298	10	104	183	M10	406	12	43.3
BCH35	1099	50	528	214	102	346	12	104	183	M12	470	14	53.8
BCH45	1764	75	622	316	178	438	20	105	185	M16	584	20	79.9

技術データ

本体呼び番号	空気室の容積 (cm ³)		回転速度限界 Nb(r/min)	自己慣性モーメント J (kg·m ²)
	最小 Vn	最大 Vo		
BCH25	22	64	3500	7.125 × 10 ⁻²
BCH30			3000	1.518 × 10 ⁻¹
BCH35			3000	2.865 × 10 ⁻¹
BCH45			2000	8.475 × 10 ⁻¹

(備考) 空気室の容積はキャリパー 1 組当りの値
 Vn: 新しい摩擦板の場合の空気室容積
 Vo: 摩擦板交換直前の場合の空気室容積

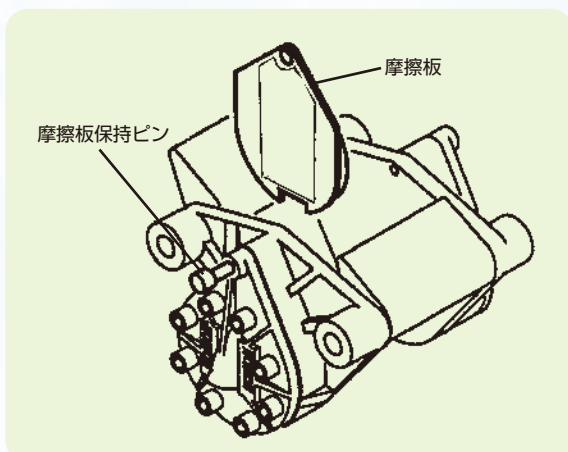
摩擦板

摩擦係数 : $\sigma' = 2.2 \times 10^{-8} \text{ cm}^3/\text{J}$

摩擦体積 : $V_f = 57 \text{ cm}^3$ (1 組当り)

摩擦板記号 : 062

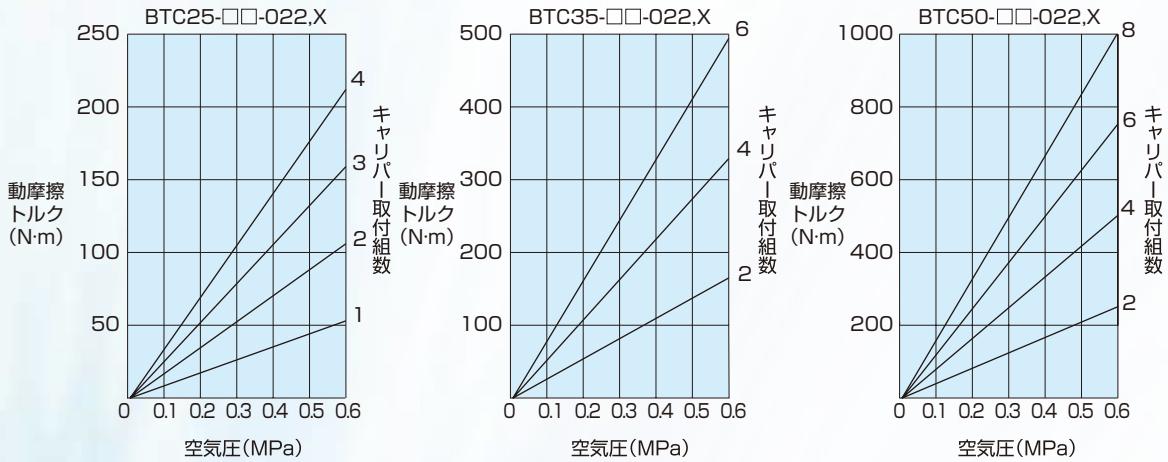
摩擦板の交換



⚠ 取扱上の注意

- ①回転方向
ロータには回転方向の指定があります。キャリパーは回転方向により取付ける方向を変えます。取扱い説明書をご参照下さい。
- ②摩擦板とロータのすきま
摩擦板とロータのすきまは左右均等になる様に取り付けてください。
- ③摩擦板の交換
摩擦板の交換は摩擦板保持ピンを引っ張ることによって行います。工具なしに秒単位で交換が可能です。
- ④安全カバー
安全カバーを取付ける場合、通気性の良い安全カバーをご使用ください。
- ⑤BCH 形キャリパーブレーキを取付ける軸、機台は軸受で支え、振れ、軸方向に移動がないようにしてください。
振れ、振動、軸方向移動があると動作が不安定になり不具合、異常音の原因になります。

空気圧とトルクの関係（標準摩擦板の場合）

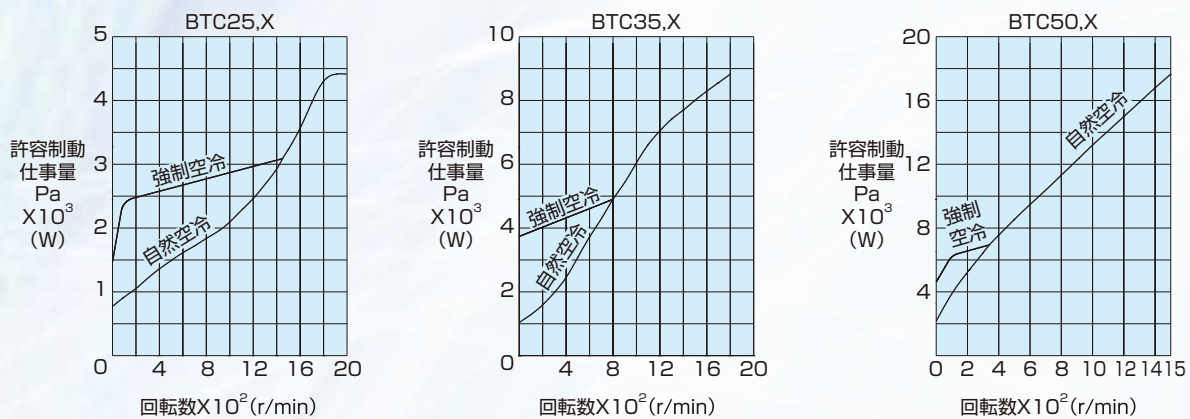


キャリアー取付組数と動摩擦トルクの関係

単位：N·m

呼び番号	BTC25,X						BTC35,X						BTC50,X						
摩擦板	ローコ		標準		ハイコ		ローコ		標準		ハイコ		ローコ		標準		ハイコ		
摩擦板記号	023		022		021		023		022		021		023		022		021		
空気圧 (MPa)	0.007	0.6	0.007	0.6	0.007	0.6	0.007	0.6	0.007	0.6	0.007	0.6	0.007	0.6	0.007	0.6	0.007	0.6	
キャリアー取付組数	1	0.4	30	0.7	53	0.9	68	0.6	47	1.1	82	1.4	106	0.9	72	1.6	125	2.1	162
	2	0.8	60	1.4	106	1.8	136	1.2	94	2.2	164	2.8	212	1.8	144	3.2	250	4.2	324
	3	1.2	90	2.1	159	2.7	204	1.8	141	3.3	246	4.2	318	2.7	216	4.8	375	6.3	486
	4	1.6	120	2.8	212	3.6	272	2.4	188	4.4	328	5.6	424	3.6	288	6.4	500	8.4	648
	5	—	—	—	—	—	—	3.0	235	5.5	410	7.0	530	4.5	360	8.0	625	10.5	810
	6	—	—	—	—	—	—	3.6	282	6.6	492	8.4	636	5.4	432	9.6	750	12.6	972
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	504	11.2	875	14.7	1134
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.2	576	12.8	1000	16.8	1296

許容制動仕事量 Pa

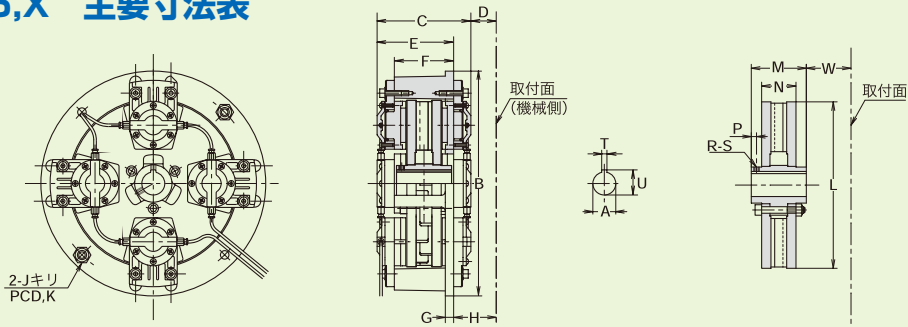


強制空冷

シロッコファンをディスクの外周側に設置すると低速回転時の許容制動仕事量が増加します。

上記グラフの強制空冷時のカーブはシロッコファン（最大風量 4.8m³/min、150W）を BTC25, X, BTC35, X… 1 個、BTC50, X…2 個（180°位置）付けた場合の値です。

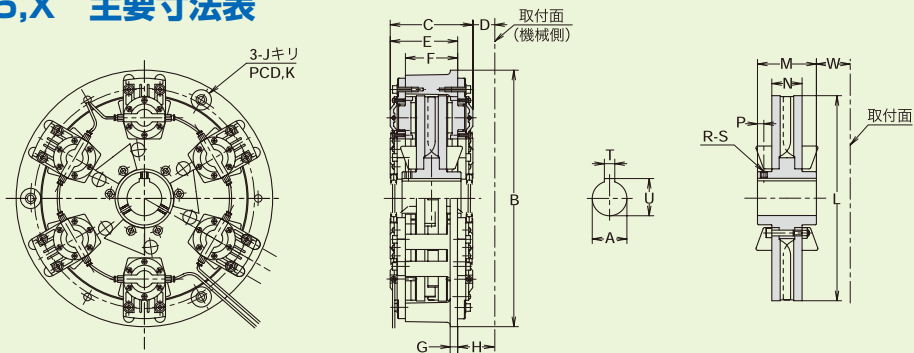
BTC25,X 主要寸法表



呼び番号	動摩擦トルク (N·m) 0.6MPa 時	主要寸法 (mm)											
		A(H7)	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
BTC25,X	212	35	343	144	38	117	90.5	12.7	65	20	308	254	84

呼び番号	主要寸法 (mm)								質量 (kg)
	N	P	R	S	W	T	U	キー	
BTC25,X	52.4	8	2	M8	68.2	8	38.3	8x7x80	25

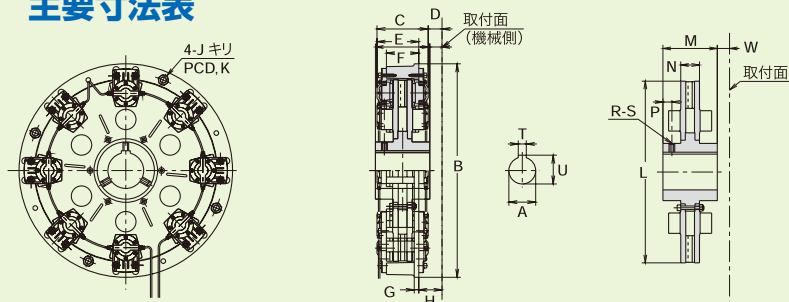
BTC35,X 主要寸法表



呼び番号	動摩擦トルク (N·m) 0.6MPa 時	主要寸法 (mm)											
		A(H7)	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
BTC35,X	492	60	444	144	38	117	90.5	12.7	65	20	394	355	102

呼び番号	主要寸法 (mm)								質量 (kg)
	N	P	R	S	W	T	U	キー	
BTC35,X	52.4	11	3	M12	59.2	18	64.4	18x11x95	49

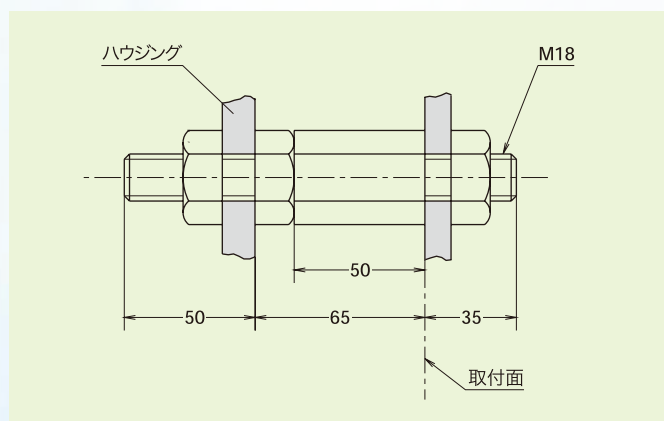
BTC50,X 主要寸法表



呼び番号	動摩擦トルク (N·m) 0.6MPa 時	主要寸法 (mm)											
		A(H7)	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
BTC50,X	1000	100	597	144	38	117	90.5	12.7	65	20	548	508	152

呼び番号	主要寸法 (mm)								質量 (kg)
	N	P	R	S	W	T	U	キー	
BTC50,X	52.4	25	3	M16	34.2	25	105.4	25x14x145	77

BTC 固定ボルト主要寸法（全形番共通）



技術データ

呼び番号	空気室の容積 (cm ³)		回転速度限界 Nb(r/min)	自己慣性モーメント J (kg・m ²)
	最小 Vn	最大 Vo		
BTC25,X	1.67	31.9	3000	8.45×10^{-2}
BTC35,X			2200	3.363×10^{-1}
BTC50,X			1500	1.583

〔備考〕 空気室の容積はキャリパー 1 組当りの値
Vn：新しい摩擦板の場合の空気室容積

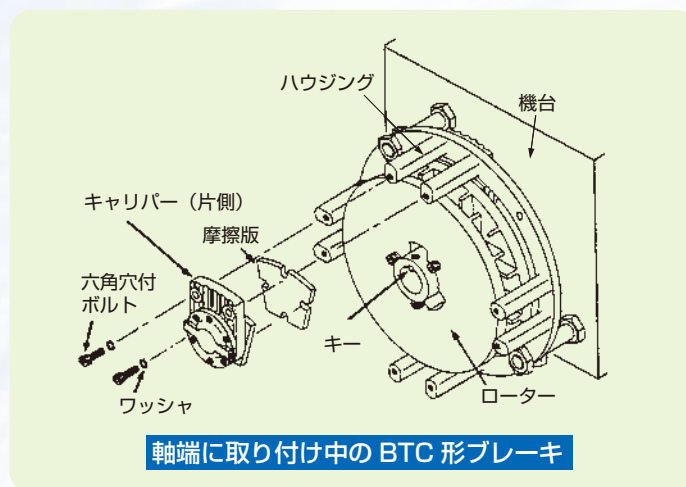
Vo：摩擦板交換直前の場合の空気室容積

摩擦板の種類

種類	摩擦係数	摩耗係数 σ' (cm ³ /J)	摩耗体積 Vf(1 組当り)cm ³	摩擦板記号
ハイコ	0.45	4.65×10^{-8}	49	021
標準	0.35	2.16×10^{-8}		022
ローコ	0.2	1.55×10^{-8}		023

⚠ 取扱上の注意

- ① 摩擦板とディスクとの間に付属のすきまゲージをそう入し、ディスクの両側のどのキャリパーもディスクとのすきまが均等になっているか確かめます。
すきまは固定ボルトの六角ナットで調整します。
- ② 摩擦板はキャリパーを固定している 2 本の六角穴付ボルトをはずして交換します。



- ③ BTC 形キャリパーブレーキを取付ける軸、機台は軸受で支え、振れ、軸方向の移動がないようにしてください。振れ、振動、軸方向の移動があると動作が不安定になり、不具合、異常音の原因になります。

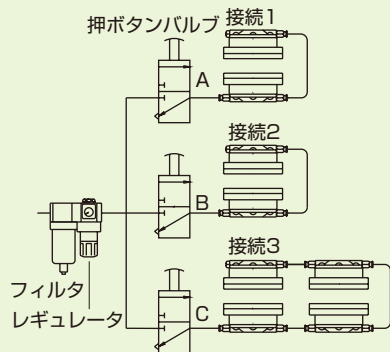
配管

BTC 形ブレーキの配管例を下図に示します。

図は 4 段階にキャリパー作動数を切換えするときの配管例を示したものです。

キャリパーの作動数を変えることにより、広範囲のトルクを常に最適な条件で制御できます。

BTC 形のキャリパー 4 組の場合の配管例

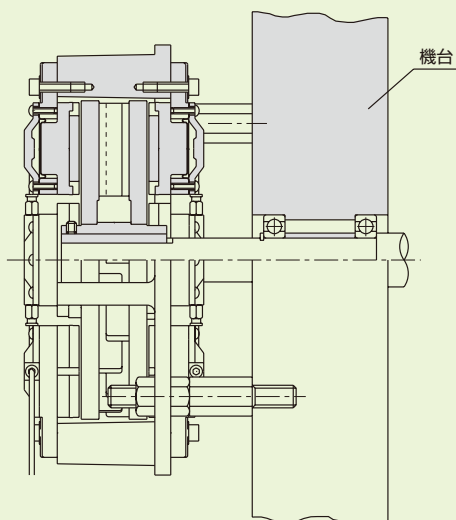


作動バルブ	キャリパー作動数
A	1
C	2
A+C	3
A+B+C	4

注意

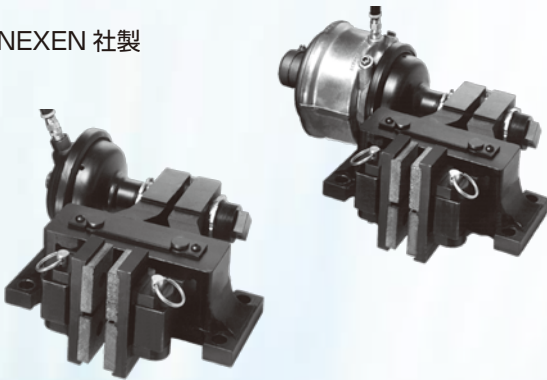
BTC 形の場合、圧縮空気はオイルミストを含まないものを供給してください。
オイルミストを含んだものを供給するとダイヤフラムが劣化します。

取付例



機台に取付けた BTC 形ブレーキ

NEXEN 社製

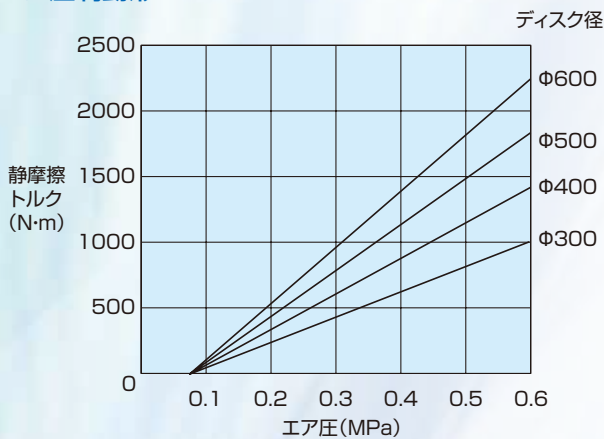


特長

- 設計に合わせてスプリング制動とエア压制動を選択できます。
 - BCFディスクキャリパー形エアブレーキを大容量化した製品です。
- ①摩擦板交換簡単
耐久性と信頼性に優れたシンプルな構造のため、摩擦板の交換もスピーディーに行えます。(ディテントピンを抜くことにより、簡単に交換可能)
 - ②安定した高トルク
エア制動形は、回転、直線運動の急制動や高頻度の停止に最適。ディスクの表面が大気に接しているため熱放散がよく、トルクが安定します。
 - ③トルクの調整が簡単
空気圧及びディスク径を変える事により、大幅にトルク調整が出来ます。又1つのディスクに複数個のブレーキを取付ける事により、トルクは複数倍になります。
 - ④取付簡単
アクチュエーターは、左右どちらでも取付けが出来ます。又エア配管は360°任意の位置に配管出来ます。

空気圧とトルクの関係

エア压制動形 BD-A



- ・動摩擦トルクは、静摩擦トルクの 85% です。
- ・ならし運転後は上記トルクから 40% アップします。

スプリング制動形 BD-S

ディスク径	静摩擦トルク (N·m)
φ 300	1000
φ 400	1400
φ 500	1800
φ 600	2200

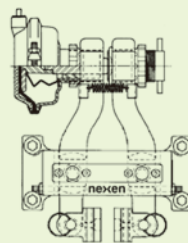
- ・最小解放空気圧は 0.52MPa です。
- ・動摩擦トルクは、静摩擦トルクの 85% です。
- ・ならし運転後は、上記トルクから 40% アップします。

許容仕事量とディスク温度

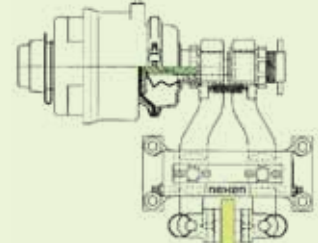
常時すべりで使用する場合、ディスク温度は 4.5 ~ 100°Cの間で使用して下さい。

構造図

BD-A エア作動形



BD-S スプリング制動形



技術データ

エア压制動形 BD-A

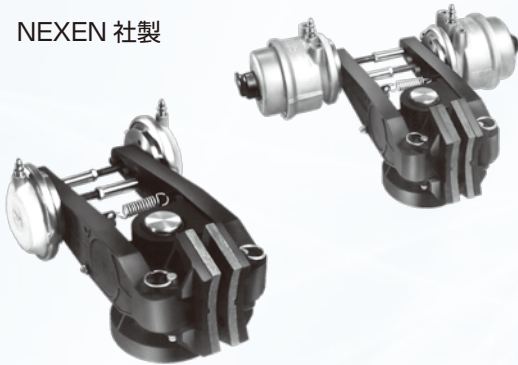
呼び番号	空気室の容積 (cm ³)		摩耗体積 (cm ³)	ディスク径 (mm)			
				回転速度限界 (r/min)			
BD-A	最小 Vn	最大 Vo	44.41	300	400	500	600
	42.16	262.2		3800	2800	2200	1900

[備考] Vn : 新しい摩擦板の場合の空気室容積
Vo : 摩擦板交換直前の場合の空気室容積

スプリング制動形 BD-S

呼び番号	空気室の容積 (cm ³)		摩耗体積 (cm ³)	ディスク径 (mm)			
				回転速度限界 (r/min)			
BD-S	681.70		44.41	300	400	500	600
				3800	2800	2200	1900

NEXEN 社製

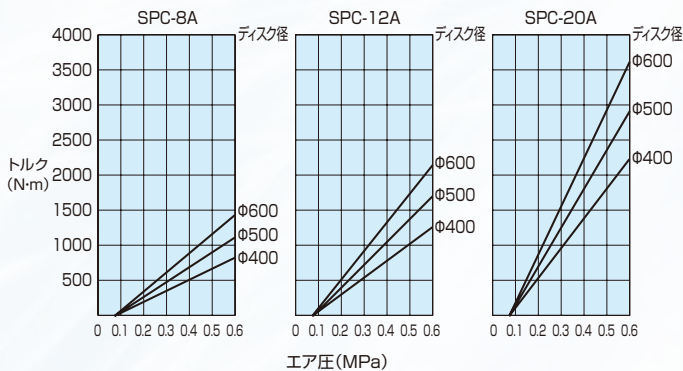


特長

- 高トルクな stopping パワーを実現するシングルポスト形。
- BD形に比べ、制動力を約2倍に高めながらもシングルポストの採用により、取付けスペースを小さく抑えることができます。BD形と同じくスプリング制動形とエア压制動形の2種類があります。

空気圧とトルクの関係

エア压制動形 SPC-A



- ・ 動摩擦トルクは、静摩擦トルクの 85% です。
- ・ ならし運転後は上記トルクから 40% アップします。

スプリング制動形 SPC-S

呼び番号	静摩擦トルク (N·M)		
	φ 400	φ 500	φ 600
SPC-8S	894	1164	1434
SPC-12S	1314	1716	2118
SPC-20S	2208	2880	3552

- ・ 最小解放空気圧は、0.48MPa です。
- ・ 動摩擦トルクは、静摩擦トルクの 85% です。
- ・ ならし運転後は、上記トルクから 40% アップします。

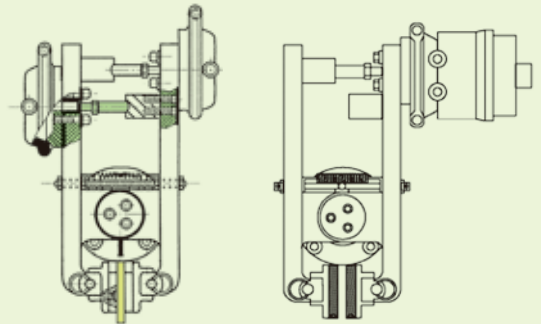
許容仕事量とディスク温度

常時すべりで使用する場合、ディスク温度は 4.5 ~ 100°C の間で使用して下さい。

構造図

SPC-A エア作動形

SPC-S スプリング制動形



技術データ

エア压制動形 SPC-A

呼び番号	空気室の容積 (cm ³)		摩耗体積 (cm ³)	ディスク径 (mm)		
	最小 Vn	最大 Vo		回転速度限界 (r/min)		
				400	500	600
SPC-8A	42.16	262.96	86.76	2800	2200	1900
SPC-12A						
SPC-20A	84.32	525.92				

[備考] Vn : 新しい摩擦板の場合の空気室容積
Vo : 摩擦板交換直前の場合の空気室容積

スプリング制動形 SPC-S

呼び番号	空気室の容積 (cm ³)	摩耗体積 (cm ³)	ディスク径 (mm)		
			回転速度限界 (r/min)		
			400	500	600
SPC-8S	681.70	86.76	2800	2200	1900
SPC-12S					
SPC-20S	1363.40				

NEXEN 社製



特長

- コンパクトで高トルクなスプリング制動キャリパーブレーキです。
- SPC形(スプリング制動)と同程度の制動力を持ち、取付スペースを約80%に抑えたスプリング制動キャリパーブレーキです。後部のリンク機構の調整により摩擦板の寿命がくるまで高トルクが維持出来ます。
簡単に取り付けることができ、摩擦板の交換もスムーズに行え、安全性を高めた設計です。
- 摩擦板交換簡単
ノンアスベストタイプの摩擦板は、ディテントピンを抜くことにより、簡単に交換出来ます。

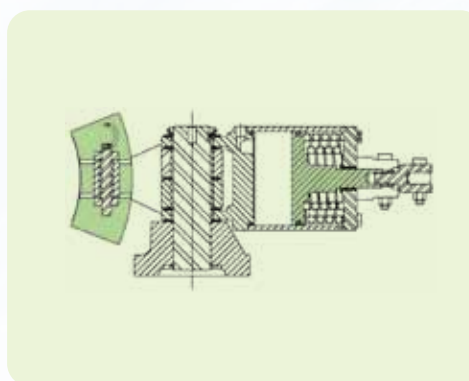
空気圧とトルクの関係

ディスク径	静摩擦トルク (N・m)
φ 400	1884
φ 500	2456
φ 600	3027

- ・最小解放空気圧は0.42MPa です。
- ・動摩擦トルクは、静摩擦トルクの85%です。
- ・ならし運転後は、上記トルクから40%アップします。

許容仕事量とディスク温度

常時すべりで使用する場合、
ディスク温度は 4.5 ~ 100℃の間で使用して下さい。



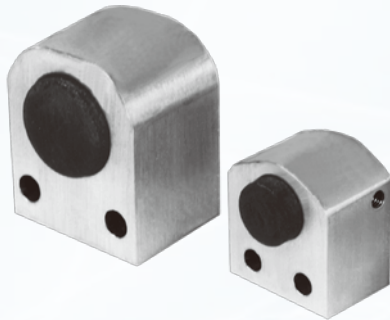
技術データ

呼び番号	空気室の容積 (cm ³)		摩耗体積 (cm ³)	ディスク径 (mm)		
				回転速度限界 (r/min)		
VC500	最小 Vn	最大 Vo	83.6	400	500	600
	45.06	632.5		2800	2200	1900

[備考] Vn：新しい摩擦板の場合の空気室容積
Vo：摩擦板交換直前の場合の空気室容積

呼び番号	内径 (mm)	トルク範囲 (N・m、空気圧0.6MPa時)								
		5	10	50	100	500	1000	5000	10000	50000
VC500	ディスク径 300~610						1330	4860 (解放空気圧0.42MPa)		

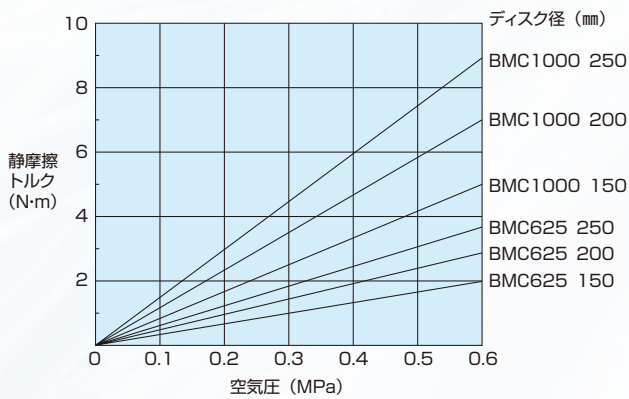
NEXEN 社製 **NEW**



特長

- 軽量、構造簡単、コンパクトな設計。
- Oリングでシールし、ピストンを摩擦板として使用する。
- 軽負荷テンションコントロール用エアブレーキ。
- 複数及び片側、両側に取付けられます。

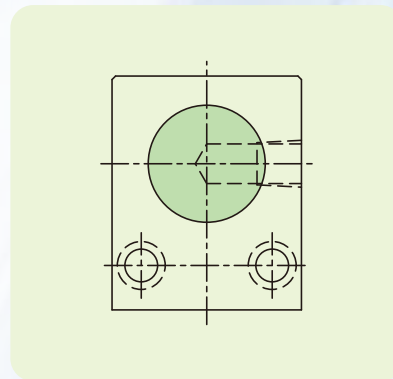
空気圧とトルクの関係



- ・ 動摩擦トルクは静摩擦トルクの85%です。
- ・ 戻しばねがないので解放時、接触によるトルクが発生する場合があります。

許容仕事量とディスク温度

常時すべりで使用する場合、ディスク温度は 4.5 ~ 100°Cの間で使用して下さい。



技術データ

1 in³ = 16.39cm³

呼び番号	空気室の容積 (cm ³)		摩擦板の摩耗体積 (cm ³)
	最小 Vn	最大 Vo	
BMC625	0.019 in ³	0.095 in ³	0.076 in ³
	0.31	1.56	1.25
BMC1000	0.049 in ³	0.245 in ³	0.196 in ³
	0.80	4.02	3.2

[備考] Vn : 新しい摩擦板の場合の空気室容積
Vo : 摩擦板交換直前の場合の空気室容積

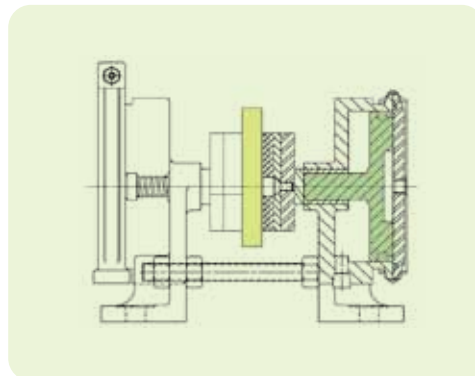
呼び番号	内径 (mm)	トルク範囲 (N·m、空気圧0.6MPa時)								
		5	10	50	100	500	1000	5000	10000	50000
BMC	ディスク径 150~250	2	9							

NEXEN 社製 **NEW**



特長

- エア式
- スプリング式



呼び番号	内径 (mm)	トルク範囲(N・m、空気圧0.6MPa時)								
		5	10	50	100	500	1000	5000	10000	50000
BC	ディスク径 400~610				180	970				

旭精工株式会社

URL : <http://www.asahiseiko.co.jp>

■本社・工場 〒593-8324 大阪府堺市西区鳳東町6丁570番地1
TEL (072)271-1221 FAX (072)273-0058
E-mail : eg@asahiseiko.co.jp

■技術サービス (精機技術課) e-mail : clutch@asahiseiko.co.jp
TEL (072)271-2766 FAX (072)271-1174

●東京支社 〒140-0001 東京都品川区北品川3丁目6番2号 品川MSビル
TEL (03)3471-9441 FAX (03)3471-9446
E-mail : tokyo@asahiseiko.co.jp

●名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目15番26号
TEL (052)211-3001 FAX (052)211-3005
E-mail : nagoya@asahiseiko.co.jp

●大阪支社 〒550-0021 大阪市西区川口2丁目8番28号
TEL (06)6583-3731 FAX (06)6583-3735
E-mail : osaka@asahiseiko.co.jp

●西日本支社 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目15番1号 小倉興産1号ビル
TEL (093)551-3081 FAX (093)521-8098
E-mail : nisnihon@asahiseiko.co.jp

●北日本支店 〒983-0043 仙台市宮城野区荻野町2丁目3番1号
TEL (022)283-1431 FAX (022)283-1432
E-mail : kitanihon@asahiseiko.co.jp

●広島支店 〒730-0043 広島市中区富士見町2番21号 西村ビル
TEL (082)244-2730 FAX (082)244-2732
E-mail : hirosima@asahiseiko.co.jp

●静岡営業所 〒424-0888 静岡市清水区中之郷1丁目4番13号
TEL (054)344-6388 FAX (054)347-9449
E-mail : sizuoka@asahiseiko.co.jp

●金沢営業所 〒920-0805 金沢市小金町8番16号 万石ビル
TEL (076)252-5880 FAX (076)251-4347
E-mail : kanazawa@asahiseiko.co.jp

●四国営業所 〒761-8073 高松市太田下町2354番地1
TEL (087)866-9888 FAX (087)866-9889
E-mail : sikoku@asahiseiko.co.jp

販売店